



報道関係各位

2018年7月18日  
株式会社 ZMP

## ZMP、ブリヂストンと自動運転車両によるタイヤ性能試験 実用化プロジェクトを開始

### ー2019年に無人自動運転走行(レベル4)によるタイヤ騒音試験の実用化を目指すー

株式会社 ZMP は、株式会社ブリヂストンとタイヤ性能試験の一つであるタイヤ騒音試験を自動運転化するための開発プロジェクトを開始しました。現在、ブリヂストン プルービンググラウンド(テストコース)内において有人自動運転走行を達成しており、2019年にはレベル4の無人自動運転走行によるタイヤ騒音試験の実用化を目指しています。自動運転車両は、ZMPの自動運転プラットフォーム車両 RoboCar® MiniVan に自動運転ソフトウェア、IZAC を搭載。カメラ、LiDAR などの各種センサとプルービンググラウンドの詳細マップを搭載しています。

実車を用いたタイヤ性能試験における課題として、走行経路、スピード、ドライバー条件などより均一な条件が求められますが、自動運転車両の導入により、より一定な条件下でのテストを繰り返し行えることとなります。人のスキル・ノウハウに依存しない自動運転車両を用いた試験を導入することで、性能評価の精度向上・効率化も可能となる技術です。

尚、今回の開発では、前方視野が遮られるバンク部分での自動走行も可能としています。この実現にはバンク部分に設置された3D LiDAR から車両を検知し、その信号をバンク進入前に自動運転車両に送信。車両と設置された3D LiDAR との通信によってコース上の安全確認を行った上で走行を可能とする技術を開発いたしました。

本プロジェクトの取り組みは、ZMP がブリヂストンよりタイヤ騒音試験の走行を自動化するための開発委託を受け2017年1月より研究開発を行って参りました。

現在、ブリヂストン プルービンググラウンド内においてレベル3の有人自動運転走行を達成しており、今後実用化オペレーションの構築、2019年には有人運転車両と共存したレベル4の自動運転車両複数台によるタイヤ騒音試験の実用化を目指しています。

将来的には本プロジェクトで得られる知見を、自動運転車両を含めた次世代車両向けのタイヤ開発への活用、また、自動車業界での各性能評価の技術としても活用できるものと想定しております。

今回のプロジェクトに関する詳細は、7月18日(水)～20日(金)開催予定のZMPフォーラム2日目 7月19日(木)11:30より紹介予定です(事前登録制)。





**【ZMP RoboCar®関連製品】RoboCar® MiniVan**

<http://www.zmp.co.jp/products/robocar-minivan>

**【本件に関するお問合せ】 <報道関係>**

株式会社 ZMP TEL:03-5802-6901

株式会社ブリヂストン 広報第2課 TEL:03-6836-3333

**【株式会社 ZMP】**

<http://www.zmp.co.jp/>

本社：東京都文京区

代表取締役社長：谷口 恒



RoboCar® 1/10   RoboCar® MV2   RoboCar® MiniVan   CarriRo®   CarriRo® Delivery

「Robot of Everything 人が運転するあらゆる機械を自動化し、安全で、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ADAS(先進運転支援)、自動運転開発用プラットフォーム RoboCar®シリーズ及びセンサ・システム、②移動体メーカー(自動車、商用車、建設機械、農業機械、物流搬送機器、屋外作業機械等)向け自動運転等の開発支援、実験代行 RoboTest®、③物流支援ロボット CarriRo®の開発・販売を行っています。また、2020年の無人タクシー実現に向け、公道での技術及びサービスの実証実験を重ねています。2017年からは日本初の歩道走行を目指す宅配ロボット CarriRo® Deliveryの実証実験を開始いたしました。ZMPはこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。